

広報

6

2021
Vol.493

猿杓

さるふつをもっと好きになる



照井さんは、大学卒業後、留萌市の保育所で勤務し、その後、平成30年から猿払村で勤務しています。今年で保育士生活19年目を迎えました。

保育士を目指したきっかけ

4つ下の妹が保育所に入所していた時に、母の付き添いでよくお迎えに行っていました。その時に、保育所の先生がとても楽しそうに子どもたちと遊んでいる様子を見て、自分も将来、同じように、子どもと関わる仕事がしたいと思ったことがきっかけです。

保育士でよかったと感じる瞬間

毎日子どもたちと触れ合えて幸せな時間を過ごすことができているのですが、卒園児が保育所に会いに来てくれた時は特にうれしいです。昔の話をしながら、子どもたちの成長を感じるとともに、自分

のしてきたことが子どもたちの記憶に残り、子どもたちの成長の基礎になっているのだなと感じた時は保育士をやっていたよかったと感じました。

女性が多い職場での不安

男性保育士が一人だけだったことも過去にありましたが、男性の園長先生やバスの運転手さんなどとコミュニケーションをよくとっていたので、男性が少なくても心細いなど感じたことはありません。現在も、職場に男性保育士がいるので男同士でよく話をし、楽しく仕事できています。

男性保育士がいることのメリット

家庭にお父さん、お母さんがいるように、保育所にも男の先生、女の先生がいることで、より家庭に近い環境で保育を行うことができ、子どもたちも安心して生活

することができているのではないかなと感じています。

目指す保育士像

得意なことが多い子や苦手なことが多い子、時にはハンディキャップを抱える子など世の中にはたくさんの子どもたちがいますが、どんな子どもが来ても、一人一人を受け入れ、生活できる環境を作れる保育士を目指していきたいです。

鬼志別保育所保育士

照井 真幸さん

女だから、男だから、ではなく、

6月23日～29日は「男女共同参画強化週間」です

「私だから」の時代へ。

男女差別をなくすため「保健婦から保健師」「保母から保育士」等、職業の名称が変わるなど「男性の職業、女性の職業」といったイメージのあった職業は、性別関係なく進出しやすくなりました。男女関係なく活躍している2名にインタビューしました。

猿払村女性消防団は平成8年10月1日に結成し、現在は8名で活動しています。小松さんは、結成当初から団員として活躍し、平成31年度から部長を務めています。

女性消防団の活動内容

主に独居老人の自宅に訪問し、ストーブやガスの点検をしています。その際は、困ったことはないかなどの話もして、相談相手になっ

ています。

また、毎年9月に消防署猿払支署で開催している「救急フェスタ」にチャリティバザーやヨーヨーすくい、焼き鳥などの出店をするなどお手伝いをしています。

他には、毎年開催される女性消防団全国大会が、10年に1回札幌開催になるので、その時は参加しています。2017年は広島で開催されましたが、そこにも参加してきました。大会では、活動の体験談やポンプ操作の演習、それぞれの地区による出し物などが行われます。消防団に入っていないければ聞くことのできない、災害救助などの生の声を聞けてとても新鮮でした。

消防団に入ってよかったこと

入団した当初、正直乗り気ではなかったけれど、やってみると楽しいことが多く、普段できないよ

うな体験ができました。

また、心肺蘇生や応急処置などの講習を定期的を受けているので、日常でも役立つことがあってよかったです。

どんな活動をしていきたいか

女性消防団の結成後すぐに、津波警報が出て何時間も避難することがありました。その時、男性の消防団員が物資を配る姿を見て、これなら女性でもできるのではないかと思います。そのできごとがあつてからずっと、もしも災害が起きた際には、何か役に立つことをしていきたいと思っています。

猿払村女性消防団部長

小松 奈津子さん

女性消防団員のみなさん





品種では、2〜5番目に咲いた4つの花を残し、最初と6番目以降の花は摘み取ります。これにより管理が複雑になり、作業量も数倍に膨れ上がったため、常に作業に追われています。それでも、少しずつ大きくなるイチゴを見ると、収穫が楽しみでなりません。

この広報誌が発行される頃には、初回の収穫を迎えている予定です。また、ハイシーズンには赤や白、桃色のイチゴがきれいに並びと思います。収穫シーズンの到来と村民の皆様にご食べていただく日を楽しみに、今日もハウスでイチゴと向き合っています。



イチゴ栽培 に挑戦

旧芦野小学校グラウンド跡地に新設されたビニールハウスで、葉物野菜やイチゴの栽培を行っています。栽培を通して、人の手と最先端技術による新しい施設園芸栽培の調査研究に挑戦しています。



猿払村地域おこし協力隊
塚田 治幸

イチゴに満ちた日々

5月中旬、芦野のハウスにイチゴを定植してから約2カ月。専門家の指導を受けながら、イチゴの生育を見守ってきました。当初、手のひらに収まる大きさだった苗が、今では立派に生い茂り、白い花をたくさん付けています。中には既にイチゴの形をした実も多くあります。収穫はまだ始まっていませんが、ここまでの道のりはイチゴ栽培の大変さを痛感する日々の連続でした。

苗が到着してから今日まで、害虫との戦いは継続的に行われています。代表的な害虫であるアブラムシやハダニは、葉の裏などの見えにくいところに発生し、短期間で爆発的に

増えるためとても厄介です。特にハダニは体長約0.5ミリと非常に小さく、発見するのは困難ですが、苗に起こる小さな変化を見逃さないように目を凝らして観察し、現在まで大きな被害を受けずに生育できています。

5月に入ると、日々の作業も慌ただしくなりました。当初、すべての苗を同じ生育方法で管理していましたが、収穫が近くなると、良い実を付けるために品種ごとに管理を変えることになりました。例えば、ある品種では最初に咲いた花から3番目に咲いた花まで残し、以降の花を摘み取ります。しかし別の





㊦ 4月28日(水) ㊦ 役場

全国の舞台で大活躍!

3月30日に東京都、4月5日に仙台市で開催された「第11回ヨーロッパ国際ピアノコンクールinJapan 小学1、2年の部」に山田寧々さん、沖野詩月さんが出場し、金賞・銅賞を受賞したことを村長に報告しました。

山田さん、沖野さんは、昨年12月に開催された同大会のオンライン審査にて全国大会への出場権を獲得。オンライン審査を勝ち抜いた演奏者が全国各地から集まる中、普段の練習の成果を十分に発揮し、素晴らしい演奏を披露しました。



㊦ 4月27日(火)

野菜の摂取量を数値化

令和3年度の健康サポート事業の一環として、野菜摂取量が見える化できる機器「ベジチェック」が導入されました。センサーに手のひらをのせて約20秒で計測できます。機器はカゴメ株式会社から1年間レンタルし、今後の集団検診や各種保健事業で活用する予定です。健診データと合わせて野菜摂取量を集計・分析し、村民の健康や食生活の課題把握を行っています。



㊦ 5月6日(木) ㊦ 役場

長年にわたる環境美化活動に表彰

猿払村漁業協同組合女性部が漁港愛護優良団体として北海道漁港漁場協会より特別表彰を受けたことを村長に報告しました。

令和2年の漁協清掃等の漁港愛護運動は、コロナ禍の中で中止となる団体もありましたが、今年度も継続的に実施している団体の中から過去の実績等を考慮して授与されました。

猿払村漁業協同組合女性部は、漁港愛護運動として毎年、植樹を行っています。



㊦ 4月28日(水) ㊦ 鬼志別小学校

交通安全ルールを再確認

鬼志別駐在所の梅津所長と役場の交通安全担当職員2名を講師に、交通ルールや自転車の乗り方を学ぶ「青空教室」が行われました。まずは、ダミー人形を使い自動車と人が衝突する事故を再現。時速20キロと時速40キロで走るパターンを1回ずつ行いました。ドンッという大きな衝突音と同時に飛ばされて倒れる人形を見て、「キャー!」という悲鳴が上がりました。今は人形だけど、これが人だと大怪我や死に至ることもあるとの説明を受けて、児童は「怖い!」と交通事故の怖さを実感しました。

地域と繋がる施設を目指して

1月 新年のお祝い



今年にはコロナ禍で大勢での新年会は難しかったため、食事で雰囲気を楽しもうと見た目も豪華な海鮮丼とサクサクの天ぷらを食べました。どちらも美味しさだけでなくボリュームがあるため「美味しい上に量もあるから幸せだ。みんなにも食べて欲しいよ」と嬉しいお声がありました。料理だけの新年会となりましたが、とてもありがたく嬉しい言葉が多く、成功したと思える一日になりました。

2月 火災訓練



利用者様と職員が合同で避難訓練を行いました。施設内での火災を想定し、実際に火災が発生した際に適切に対応できるように訓練を行いました。何も起きないことが一番大切ですが、いざ火災があった時は瞬時に行動できるようにしておくことは大事だと改めて考えさせられる訓練になりました。

3月 ひなまつり



3月3日の食事にちらし寿司が出ました。ちらし寿司はひなまつりにちなんで菱餅の形になっていて「かわいいね、食べる時に崩すのがもったいないよ」と嬉しい声もありました。他にもお吸い物や煮物などがあり「どれも美味しかったよ」と感想をいただきました。みなさんが見て楽しむ、食べて楽しむ食事が提供できて良かったと思える日になりました。

■ 地域交流課 ☎ 212722
小規模多機能型居宅介護施設「楽楽心(ららはーと)」での日常風景やイベントの様子をお伝えします。



たかはし まこと
高橋 誠

1946年生まれ。毎年、庭に畑を作ってスイカやメロン、野菜の栽培をしているとのこと。子どもや孫に食べてもらえるのが楽しみと笑顔だった。

人を助けたい気持ちから始めた仕事

高橋さんは、猿払村芦野で生まれ育ち、中学卒業後から働き始めました。美深の山奥で住み込みの畑仕事や、道内を回る看板取り付けの仕事、猿払村で牛の餌や物資を農家に運ぶ仕事、稚貝やカニを築地などの市場へ運ぶため全国を走り回る仕事など様々な体験談を話してくれました。

ちょうど仕事が休みで家にいた時に、当時酪農をやっていた父から「腰が痛くて仕事ができないから手伝ってほしい」と言われ、そこで初めて酪農の仕事をしました。酪農のことは全く知らない状態でしたが、とにかく父を助けたい、父の代で潰したくないとの思いから本格的に酪農を始めることを決意します。酪農経営を始めてからは、畑にならないような土地でも

整地をしたり、牛を増やしたり、建物を大きくしたりと、規模拡大に力を入れました。そのうちお金の回りがよくなり、経営が軌道に乗ってからようやく、酪農を楽しいと思えるようになったそうです。3年前、息子に経営移譲をしましたが、今でも酪農の手伝いをしています。

今の猿払村について、気候が良く住みやすいが、過疎化が進んでいるのが心配とのこと。福祉タクシーは助かっていて良い取り組みだと思うので、今後もなくならないようにしてほしいと話します。

今後の猿払村を担う若者に向けて、村の特産品を活かして、若者の視点で新しいものを作る人が増えてほしいと語りました。



レンジで簡単！本格キーマカレー

感染症の影響で外での食事の機会が減り、自宅での食事が増えているのではないだろうか。そこで今回は、レンジで温めるだけで食べられる、「レトルトカレー」「潮風香る賛沢キーマ」を紹介したい。
こちらは、南極料理人の西村淳氏監修のもと、猿払村、浜頓別町、枝幸町のホテル、道の駅レストラで構成された北オホーツク特産品連携協議会が開発。食材の大きさや辛さの調節など細かく意見交換を行い、何度も試作を重ねて完成した、3町村の魅力がたっぷり詰まったレトルトカレーだ。
スパイスのよく効いたカレーで、ピリツと辛い、大人向けの味となっている。具材には、猿払村産のホタテが1玉とタコが賛沢に使われていて、コリコリとした歯ごたえと海の幸の豊かな風味を感じられる。また、カレーソースと具材が分けてパックされているため、お互いの味を邪魔することなく、本来の味を楽しめるよう細かい部分までこだわって作られた一品だ。
調理が必要なく、短時間で本格的なキーマカレーを楽しむことができるのでぜひ食べてみてほしい。また、カレーソースを使用したアレンジレシピも同封されているのでそちらもぜひ試してみてください。

潮風香る賛沢キーマ

【内容量】180g

【価格】700円

【販売店】さるふつまると館



おしゃれなパッケージデザイン



大粒のホタテが入った賛沢なカレー

時代の立役者と
未来を担う若者

紡ぐ時代 つながる未来

今と未来のインタビュー

人の役に立ち、周りを支えられる大人になりたい

天野さんは、文化部に所属していて、活動は合唱や器楽演奏、卒業生へ向けのお守りを作るなど様々です。そんな活動を通して、恥ずかしがらずに大きな声を出せるようになったり、人前に出ることが嫌ではなくなったり、何事も前向きに考えられるように成長したとのことでした。

これからは、受験に向けた準備を進めていきたいとのこと、苦手な英語の成績アップを目標に、休み時間を使って、英語の単語の勉強をするなど力を入れて取り組んでいます。

中学校生活での思い出は、中学1年生の時の学校祭。全校生徒みんなで盛り上がり、とても楽しかったそうで、クラス発表で踊ったダ

ンスがすごく印象に残っていると笑顔でした。

猿払村の好きなどころを聞いてみると、自然が豊かで食べ物がおいしいところと答えてくれました。しかし、小さい村なので、良い話も悪い話もすぐに村民に広まってしまうところはあまり良くないと感じているそうです。

将来の夢は看護師。看護の仕事をしている祖母の影響を受け、自分も看護の道に進みたいと思うようになったそうです。卒業後は看護系の学校に進学したいと考えているようで、たくさんの人の役に立ち、周りを支えられるような大人になりたいと力強く答えてくれました。



あまの あや
天野 彩矢

拓心中学校3年生。最近は裁縫にはまっているそう。手先が器用で、黙々と集中してやる作業が好きと笑顔で話してくれた。

健康 だより

【執筆者】
保健福祉課健康推進係
管理栄養士 鈴木 日晷



「あと+70gの野菜を食べましょう！」

みなさん、野菜の1日の目標摂取量はご存じですか？国では、生活習慣病予防のために1日350g以上野菜を食べることを目標にしています。しかし、道民の平均摂取量は272gと70g程度不足している状況です。約70gの野菜というと、トマト1/2個、きゅうり1本、キャベツ1~2枚程度です。

そこで今回は、+70g以上の野菜が手軽とれる「カロテンたっぷり！人参とピーマンのナムル」のレシピをご紹介します。使う材料(2人分)は、人参1本、ピーマン2個、鶏がらスープの素小さじ1、醤油小さじ1、ごま油小さじ2、白いりごま大さじ1/2です。調理工程は、①人参、ピーマンは細切りにする。②耐熱皿に①を入れ、ふんわりとラップをかけ、600Wの電子レンジで2分30秒加熱する。③熱いう

ちに鶏がらスープの素と醤油を加えて混ぜ合わせる。④ごま油と白いりごまを入れ、よく混ぜたら完成です。

人参やピーマンに含まれる「カロテン」という栄養素は、体内でビタミンAに変換して、皮膚や粘膜を丈夫にする働きや、視力の維持、がん予防などの効果が期待できます。カロテンは油と一緒に摂ると吸収率が上がるため、ナムルや炒め料理で摂ることをおすすめします。

また、保健センターでは今年度より野菜摂取推定量が測れる「ベジチェック」を実施しています。ご興味のある方は、いつでも測定できますのでお声掛け下さい。



今月の あなたのしあわせ

「まちがいさがし」

※答えは来月号で発表します

まちがいは全部で4つあるよ。下の写真を見比べて探してみよう！



出演：企画政策課観光係 亀山 陽汰

ちょこっとメモ

「消防団って何者？」

みなさん消防団という言葉を目にしたことはありますか？聞いたことはあるけど実際何人いて、どのような活動をしているのかぼんやりとは想像つくと思いますが、詳しくはわからないと思います。なので、今回は改めて消防団を紹介したいと思います。

消防団とは火災が起きた時の消火活動、地震や津波、風水災害時の避難誘導など沢山の人が必要な時や災害防御活動など非常に重要な役割があります。

さらに、住民への防火指導や巡回広報など、地域に密着した活動をしており、地域の消防力・防災力の向上、地域コミュニティの活性化など沢山の役割があります。

猿払村の消防団員にはどのような方が入団しているかということ、漁師さんや農家さん、会社で働いている人たちが消防団に入団し、消防団員として活動しています。



【執筆者】
消防署猿払支署警防係
消防士 佐川 龍

現在猿払村では、122名の消防団員さんが活動していて、その中に女性消防団員さんは8名います。そんな猿払村の消防団員さんはどのような活動をしているかというと、大きな行事だと春には春季消防合同演習。冬には出初式があります。

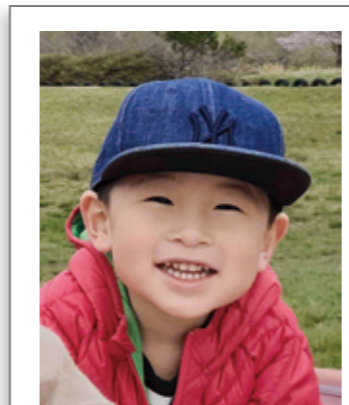
また、行事以外の活動では、団員さんが集まって訓練をしたり、火災を予防する活動、消火栓や防火水槽の草刈りや除雪などいつ何があっても大丈夫なように活動しています。

ざっくりでしたが消防団について説明させていただきました。このように消防団にはたくさんの方がいて猿払村のために頑張っている人達がいるのを少しでもこの記事で知ってもらえればうれしいです。

また、夏になり火を扱うことが増えると思いますが、くれぐれも火の取り扱いには注意してください。

輝くさるふっキッズ

みなさんから応募のあった、6月生まれのお子さんを紹介します。1歳~6歳までの猿払村に住んでいる子どもが対象です。FacebookやInstagramから応募ができますので、お気軽にご応募ください。 ※毎月15日が締め切りです



西口 優志くん(3)
2018年6月3日生まれ
保護者：西口 鈴児まん



丹治 蒼翔くん(1)
2020年6月10日生まれ
保護者：丹治 和哲まん



東 羽空くん(5)
2016年6月14日生まれ
保護者：東 仁志まん

※掲載年齢は、誕生日以降の年齢です

詳しい応募方法は、右のQRコードからチェック！



家屋を取り壊したとき
の手続きについて

▼固定資産税の課税について
・固定資産税は、毎年1月1日（賦課期日）現在に存在している固定資産を課税対象とし、その年の4月から始まる年度分について課税されます。

▼未登記家屋を取り壊したとき
・未登記家屋を取り壊したときは、「家屋滅失届」（住民課窓口にあります。）を役場住民課税務係まで提出してください。
※未登記家屋とは：法務局で登記をされていない家屋

▼登記済家屋を取り壊したとき
・登記済家屋を取り壊したときは、法務局で「滅失登記」をしてください。ただし、滅失登記を行わないとき、または滅失登記の手続きが家屋を取り壊した翌年以降になるときは、「家屋滅失届」を役場住民課税務係まで提出してください。

どちらの場合も届出がなければ、

取り壊した家屋に課税されることになり、ご注意ください。

▼家屋を取り壊す予定の方へ
・家屋の取り壊しの届出をする際は、取り壊し日を確認できる書類（解体業者が発行する証明書、工事費用の領収書、取り壊し工事の状況を撮影した日付入りの写真など）のご用意をお願いします。

■住民課税務係 ☎2-3133

税務係から納期のお知らせ

6月は「道村民税の第1期」の納期です。納期内納付にご協力をお願いいたします。

■住民課税務係 ☎2-3133

「停電情報」の新たな配信・応答サービス開始

停電情報入手しづらい等の不便を緩和するため、北海道電力ネットワーク(株)より新たな「停電情報」の配信・応答サービスを開始しました。

▼LINE公式アカウントによるメッセージ配信サービス
LINE公式アカウントを活用し、あらかじめ登録いただいた地域で停電が発生・解消した際に、当該情報を自動的にお知らせします。

これにより、北海道電力ネットワークホームページや電話に加え、LINEで停電情報をご覧いただけます。

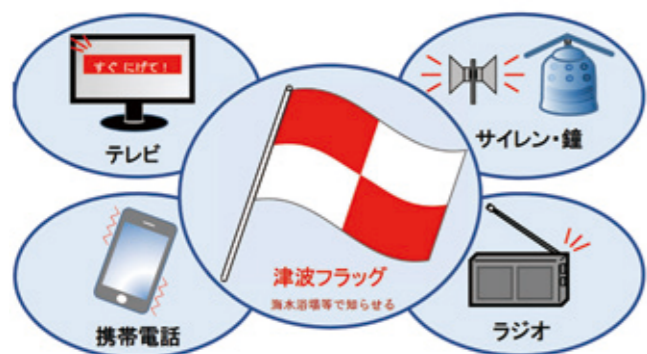
登録・利用は無料ですので、停電の発生に備えて、LINE公式アカウント「ほくでんネットワーク」からぜひ、ご登録ください。

▼AIによる停電情報自動応答サービス
AI（音声認識機能）を活用した「停電情報自動応答システム」

新たな津波警報等の伝達「津波フラッグ」

気象庁から発表された津波警報等（大津波警報・津波警報・津波注意報）は、テレビやラジオ、サイレン・鐘、携帯電話等、様々な手段で伝達されますが、令和2年夏から「津波フラッグ」による伝達方法が加わりました。

「津波フラッグ」は、「赤と白の格子模様の旗」で、海水浴客やマリンスポーツ・海釣りなどを行う人がいる海水浴場等の海岸で用い



津波フラッグイメージ

により、電話口で発話された住所に対する停電情報を自動音声でお答えします。

広範囲での停電発生時など、お問い合わせが集中した際には、電話が繋がりにくくご不便をおかけしてしまう場合がありますが、本サービスの開始により、お待ちいただくことなく停電情報をご確認いただけるように、コンタクトセンターの「つながりやすさ」が向上します。

【専用ダイヤル】
0120-165-597
(通話無料・24時間受付)

■北海道電力(株)広報部広報企画グループ
☎011-251-4076

られ、聴覚障害がある方や、波音や風音が聞き取りにくい遊泳の方などにも津波警報等の発表を視覚的にお知らせするものです。海水浴場や海岸付近で「津波フラッグ」を見かけたら、速やかに避難してください。

■稚内地方気象台
☎0162-23-2679

あなたの無線機器は
大丈夫？

インターネット等で販売している外国規格の無線機は、電波の基準を満たさないため、国内では使用できません。使用すると、テレビや重要な無線通信に妨害を与えるおそれがあります。

無線機を購入の際には必ず、「技術基準適合証明等のマーク」の確認をお願いします。

電波に関する困りごとやご相談は、お問い合わせください。

■総務省北海道総合通信局
☎011-737-0099

猿払村図書室
おすすめ本のご紹介

上段：一般図書 ▶農村環境改善センター ▶教育委員会 開館日時 ④⑤⑥⑦
下段：児童図書 ☎2-3695 ☎2-3011 12時00分～18時00分

白鳥とコウモリ

東野圭吾 著
遺体で発見された善良な弁護士。一人の男が殺害を自供し事件は解決のはずだった。「すべて、私がやりました。すべての事件の犯人は私です」2017年東京、1984年愛知を繋ぐ、ある男の告白、その絶望、そして希望。「罪と罰の問題はとて難しくて、簡単に答えを出せるものじゃない」私たちは未知なる迷宮に引き込まれる。

ドキュメント

湊かなえ 著
中学時代に陸上で夢を追い求めていた町田圭祐は、交通事故に遭い高校では放送部に入ることに。三年生引退後、圭祐は同期たちとテレビドキュメント部門の題材として陸上部の活動を撮影していく。するとドローン動画の中に、煙草を持って部室から出てくる親友・良太の姿が映りこんでしまう。圭祐が事件解決のため奔走すると、計画を企てた意外な人物が明らかになって…。

悪の芽

眞井徳郎 著
銀行員の安達は、世間を震撼させた事件の犯人が同級生だったことに気づいて絶句する。小学生の頃、小さな見栄から彼がいじめに遭うきっかけを作ってしまった。その後、普通の人生から道を踏み外した彼は、大量殺人犯となり、自らに火を点け、動機不明のまま死んでいった。絶望の果てに、人間は何を見るのか。魂の叫びと祈りが胸に刺さる、長編ミステリの傑作！

あるヘラジカの物語

鈴木まもる 絵・文
群れを守るオスのヘラジカと、そこに近づく別のオス。巨大な体と角をぶつけあい、激しい戦いが始まった。星野道夫が遺した1枚の写真から生まれた大自然で暮らす動物たちの壮絶なドラマと生命のつながりを描いた絵本。

みつばちと少年

村上しいこ 著
クラスの中でうまくやっていた雅也は、中1の夏休みを利用して、養蜂場を営むおじさんのいる北海道へ行くことに。寝泊まりすることになった「北の太陽」では、さまざまな事情を抱えた子どもたちが暮らしていた。養蜂の手伝いや、イカめしコンテストへの出場など、自然豊かな北海道でのひと夏をつうじて、雅也の心に変化がおこる。

あおぞらこども食堂はじまります！

いとうみく 作
ハルさんはお弁当を持って公園に出かけると、となりのベンチに座っていた女の子がパンをくれました。ふたりは友だちになり、ハルさんはひとりで食事をしていることが多いことを知ります。そこでハルさんが考えたのは、こども食堂を開くこと。町のみんなも手伝いに来てくれて…。心あたたまるこども食堂の物語。

ふるさと寄附のご報告

全国の方より心温まるご支援をいただきました

ふるさと寄附金受領金額 **3億1,183万円**

使い道の希望	件数	金額
地域文化の伝承及び地域産業の振興に関する事業	356件	5,495,000円
特産品の育成及び地域産業の振興に関する事業	2,030件	29,038,000円
自然環境並びに地域景観の保全に関する事業	2,831件	42,092,000円
高齢者の生活を支援する地域づくりに関する事業	799件	12,071,000円
青少年の健全育成及び少子化対策・教育環境整備に関する事業	2,356件	45,260,000円
その他目的達成のため、ふるさと猿払村づくり全般に関する事業	9,503件	177,874,324円
合計	17,874件	311,830,324円

主な使い道



社会科副読本の作成
4,631,000円



福祉車両の購入
1,716,000円



介護予防・生活支援(配食サービス等)
5,421,632円



保育所乳幼児室空調設備設置
660,000円



子ども医療費給付事業
5,590,563円



施設園芸栽培調査研究事業
29,854,598円

ふるさと応援基金積立額

1億6,829万円

お礼の品や手数料等の経費(143,531,312円)を差し引いた168,299,012円を積み立てています。

ふるさと応援基金残高

3億1,173万円

ふるさと応援基金から149,022,381円を取り崩し、311,936,461円が残りました。

日付	予定	時間	場所
1	ちびっこ広場A	10:00	農村環境改善センター
2	4種混合ワクチン予防接種	15:00	村国保病院
3	すやすや広場A	10:00	農村環境改善センター
4	日本脳炎予防接種(3歳~7歳6ヶ月対象)	15:00	村国保病院
7	エアロビ教室	10:00	保健福祉総合センター
8	日本脳炎予防接種(9歳以上対象)	15:00	村国保病院
9	ちびっこ広場B	10:00	農村環境改善センター
9	口タウウイルスワクチン予防接種	15:00	村国保病院
9	移動図書館車「なかよし号」巡回	10:00	知来別小学校
9	けんこう運動教室(ころばん運動教室)	12:50	浜鬼志別小学校
9	けんこう運動教室(はつらつ運動教室)	13:00	保健福祉総合センター
9	ヒブ・小児肺炎球菌ワクチン予防接種	14:00	保健福祉総合センター
10	すやすや広場B	15:00	村国保病院
10	日本脳炎予防接種(3歳~7歳6ヶ月対象)	10:00	農村環境改善センター
11	移動図書館車「なかよし号」巡回	15:00	村国保病院
11	水痘ワクチン予防接種	12:30	浅茅野台地
11	エアロビ教室	13:05	浅茅野小学校
14	日本脳炎予防接種(9歳以上対象)	15:00	村国保病院
15	ちびっこ広場A	10:00	保健福祉総合センター
15	巡回広場(猿払)	10:00	農村環境改善センター
16	移動図書館車「なかよし号」巡回	11:15	狩別
16	4種混合ワクチン予防接種	13:20	鬼志別小学校
17	男の栄養教室	15:00	村国保病院
17	BCGワクチン予防接種	11:00	保健福祉総合センター
18	ゆっくり栄養教室	15:00	村国保病院
18	B型肝炎ワクチン予防接種	11:00	保健福祉総合センター
21	エアロビ教室	15:00	村国保病院
21	日本脳炎予防接種(9歳以上対象)	10:00	保健福祉総合センター
22	すやすや広場A	15:00	村国保病院
23	けんこう運動教室(ころばん運動教室)	10:00	農村環境改善センター
23	けんこう運動教室(はつらつ運動教室)	13:00	保健福祉総合センター
23	ヒブ・小児肺炎球菌ワクチン予防接種	14:00	保健福祉総合センター
24	日本脳炎予防接種(3歳~7歳6ヶ月対象)	15:00	村国保病院
25	いきいき栄養教室	15:00	村国保病院
25	B型肝炎ワクチン予防接種	10:30	保健福祉総合センター
26	猿払村郷土資料館	15:00	村国保病院
27	展示資料公開&特別展示会	9:30	旧猿払小学校
28	ちびっこ広場B	10:00	農村環境改善センター
28	エアロビ教室	10:00	保健福祉総合センター
29	日本脳炎予防接種(9歳以上対象)	10:00	保健福祉総合センター
29	すやすや広場B	15:00	村国保病院
30	子育て講座「ヘアカット術」	10:00	農村環境改善センター

戸籍の窓口

4月15日~5月14日までの届出
個人情報保護のため、本人・ご家族の希望があったものを掲載しています。(敬称略)

●ご誕生・・・健やかに育ちますように

出生日	出生児	両親の名前	住所
4/12	佐藤 礼弥	雄輔・聖衣子	鬼志別北町
4/28	白川 千咲	慎司・ひとみ	浜猿払
4/29	横山 杏絆	綾摩・遥子	浜猿払

●お悔やみ申し上げます

氏名	年齢	住所
宮川 ミヨ	101歳	鬼志別西町
小山 美智代	56歳	浜鬼志別
今村 キミ	80歳	鬼志別西町
鈴木 宣男	89歳	浅茅野台地

●ご寄附・・・善意をありがとうございます

村外の方から610件のふるさと寄附がありました。

●むらのうごき

令和3年5月1日現在()内は前月比

世帯	男性	女性	人口
1,282世帯(+4世帯)	1,320人(-4人)	1,367人(-3人)	2,687人(-7人)

「マスクさるっぷ」を作成しました。申請をいただければ、使用することができます。ご希望の方は、下記までご連絡ください。

改めて、「マスク着用」「手洗いや消毒」「3密の回避」などを徹底しましょう!

■企画政策課観光係
☎2-3132



インプラントはできないと言われたあなたへ
1日で噛めるインプラントを。マロ・デンタル札幌はAll-on-4インプラントの専門クリニックです

カウンセリングのみ
無料で承ります
オンライン無料相談受付中

初診パック/5,000円
(レントゲン・模型製作
歯周病検査含む)

MALODENTAL
DENTALCARE SAPPORO
☎011-613-8615

札幌市中央区大通西25丁目1-2 ハートランド円山ビル3F
受付時間/9:00~18:00 休診日/土・日・祝
※土・日・祝は不定期診療となります。
https://www.maloclinic-sapporo.com

院長 木村 洋子



noteでも猿払をもっと好きになる

noteとは、文字や写真、音声などを投稿することができ、ブログのようなサービスです。村が運営することで目指すことは2つあります。1つ目は、村民や猿払のことを知っている人に、猿払のことをもっと広く、深く知ってもらうこと。そして、全ての方に猿払の過去、今、未来をお届けしてさらに愛着を持っていただくことです。2つ目は、まだ猿払を知らない人に認知していただくことを目指します。ホタテ、イトウ、エサヌカ線をきっかけに猿払をご存知の方もいますが、全国的に見るとまだまだ知名度は高いとは言えません。

では、どのような投稿をしていくのか説明します。1つ目は、新たな取り組みや注目のイベント、村の知られざる仕事などを深掘りしてお伝えします。例えば、新産業創出プロジェクトや広報猿払制作にまつわる取材や編集の裏側など。2つ目は、村

の施設やグルメ等、村民も村外の方も楽しめる記事を投稿します。3つ目は、みなさんに向けてちよつとためになる話。健康やスポーツに関する投稿も検討しています。現段階では、このような記事を投稿していく予定ですが、継続していく中で変化していくものと考えています。

まずは継続することを目標に毎週水曜日に定期投稿をしていきます。その他にも、お伝えしていくべき内容が出てきたら随時投稿することとします。

村民の皆さんはもちろん、全国の皆さんに楽しんでいただけるような記事を投稿できるように、5人の担当スタッフ一同で取り組んでいきます。ぜひ、アカウローしてくださいね。

アクセスはこちらから！



時事雑感

今月の特集は「男女平等参画社会」についてでした。今では「ジェンダー・フリー」という言葉が社会的にも幅広く浸透し、女性が働く・活躍することが増えてきていると感じます。しかし、「男性が育児休暇を取得する」と聞いた時に皆さんはどう感じますか？数ヶ月前に、某テレビドラマ（逃げ〇〇）のストーリー中に「男性の育児取得」についてスポットが当てられ、その中で「そもそもなんですけど、

仕事を休めないってこと自体が異常ですよ」というフレーズが印象的に感じました。また、日本の男性が育休を取得する割合も「女性が80%超」に対し、「男性が6～7%程度」と大幅に低い状況です。わたし自身も、男性・女性が、職場や学校、地域や家庭の中でそれぞれの個性と能力を発揮できる「本当の男女平等・共同」とは何かを改めて考えさせられました。皆さんもこの推進週間を通して考えてみるのはいかがでしょうか。[K]